

新成人の夢・抱負



勝山市成人式

「8」新時代に種を蒔こう
1月12日、市民会館ホールで令和となって初めての勝山市成人式が開かれました。式には、当市の新成人226人のうち194人が出席し、旧友や恩師との再会を喜びました。

成人式実行委員会が定めたテーマの「8」は〇(輪)をつなげて新元号「令和」を表現するとともに、新時代を切り開く新成人の力は無限大であることを表しています。

主催者を代表して、山岸市長が「地方創生の実現に何よりも必要なのは、若い人たちの力。勝山市で生まれ育った勝山人として、ふるさとへの誇りと愛着を持ち続け、ふるさととのつながりを大切に生きてほしい」と式辞を述べました。

また、新成人代表の斎藤菜月さんが「令和」最初の成人として、新時代の先頭に立ち、良心を持って強く生きていく」と誓いの言葉を述べました。



Special Thanks

勝山市成人式
実行委員会
山口由華会長

実行委員会に入り、アトラクションの企画など、大変なこともありましたが、みんなの思い出に残る成人式になりよかったです。

成人を迎えられたのは家族や友人、周りの方々のおかげ。大学で一生懸命学んで看護師になり、親孝行や社会貢献をしたいです。

10年前からの手紙



鹿谷地区の新成人には、10年前のわくわく体験合宿で自分あてに書いた手紙が手渡されました。過去からの手紙を読み、皆さん当時を懐かしんでいました。

新成人の声



最優秀賞に選ばれた斎藤優太さんは「将来はサブサハラアフリカの経済発展に携わりたい」と、中学校時代に関心を持ったアフリカへの思いを語りました。

成人式
フォトアルバム

